

# 中部における基本方針に定める 移動等円滑化の目標達成状況

---

バリアフリー法に基づく基本方針に定められた2020年度までの標整備目標の達成状況は下記のとおり。2021年度からは2025年度までの3次目標を設定し引き続き移動等円滑化を推進。

		2020年度末の目標達成状況	2020年度までの2次目標(令和2年度末)	2025年度までの3次目標 (2次目標からの変更部分を赤字で記載)	
鉄軌道	鉄軌道駅	95%※1※2	○3,000人/日以上の鉄軌道駅を原則100%	○3,000人以上/日以上及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人/日以上鉄軌道駅を原則100%【指標を追加】	
	ホームドア・可動式ホーム柵	943駅 (2,192番線)	※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う	○3,000番線(10万人以上は800番線)	
	鉄軌道車両	76%	○約70%	○約70%※4 ※車両のバリアフリー基準改正を踏まえて設定	
バス	バスターミナル	94%※1※2	○3,000人/日以上を原則100%	○3,000人/日以上及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人/日以上バスターミナルを原則100%【指標を追加】	
	乗合バス車両	ノンステップバス	64%	○約70%(対象から適用除外認定車両(高速バス等)を除外)	○約80%※4
		リフト付きバス等	6%	○約25%(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)	○約25%※4(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)【指標を追加】
	貸切バス車両	1,975台	○約2,100台	○同左※4	
船舶	旅客船ターミナル	100%※1※2	○3,000人/日以上の旅客船ターミナルを原則100%	○2,000人/日以上旅客船ターミナルを原則100%【指標を追加】	
	旅客船(旅客不定期航路事業の用に供する船舶を含む。)	53%	○約50%	○約60%※4	
航空	航空旅客ターミナル	100%※1※2	○3,000人/日以上の航空旅客ターミナルを原則100%	○2,000人/日以上航空旅客ターミナルを原則100%【指標を追加】	
	航空機	99%	○原則100%	○同左※4	
タクシー	福祉タクシー車両	41,464台	○約44,000台	○約90,000台※4【指標を追加】	
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	91%	○原則100%	○約70% ※対象が約1,700km→約4,450kmとなったことを踏まえて設定	
都市公園	園路及び広場	59%※3	○約60%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約70%	
	駐車場	50%※3	○約60%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約60%	
	便所	37%※3	○約45%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約70%	
路外駐車場	特定路外駐車場	71%※3	○約70%	○約75%	
建築物	2,000㎡以上の特別特定建築物のストック	62%	○約60%	○約67%	
信号機等	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	98%	○原則100%	○原則100%【指標を追加】	

※1 旅客施設は段差解消済みの施設の比率。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響で旅客需要の減少が継続

※3 2020年度末の数値は集計中であるため2019年度末の数値

※4 車両等におけるバリアフリー化の内容として、段差の解消、運航情報提供設備(車両等の運行(運航を含む。に関する情報を文字等により表示するための設備及び音声により提供するための設備。福祉タクシーにあっては、音声による情報提供設備及び文字による意思疎通を図るための設備)の設置等が含まれる旨を明記。

# 鐵道

# 中部の鉄軌道駅のバリアフリー状況(県別)

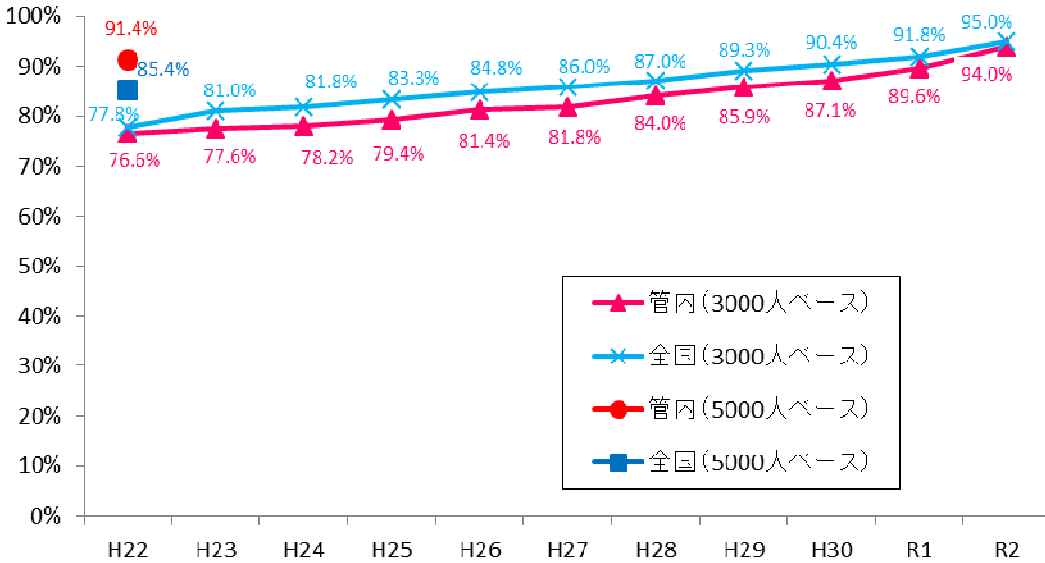
- ・利用者数が1日平均3千人以上である鉄軌道駅のバリアフリー化は、約9割強について実施済。
- ・県別にみると、三重県、福井県の進捗率が比較的高い。

(目標値:100% ／2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
鉄軌道駅数	275	48	19	24	3	369	3,251
(うちトイレ設置駅数)	250	47	18	24	3	342	3,074
段差の解消駅数	256	47	18	23	3	347	3,090
割合	93.1%	97.9%	94.7%	95.8%	100%	94.0%	95.0%
視覚障害者誘導用 ブロック駅数	266	42	19	23	3	353	3,158
割合	96.7%	87.5%	100%	95.8%	100%	95.7%	97.1%
障害者トイレの設置駅数	225	43	16	23	3	310	2,832
割合	90.0%	91.5%	88.9%	95.8%	100%	90.6%	92.1%

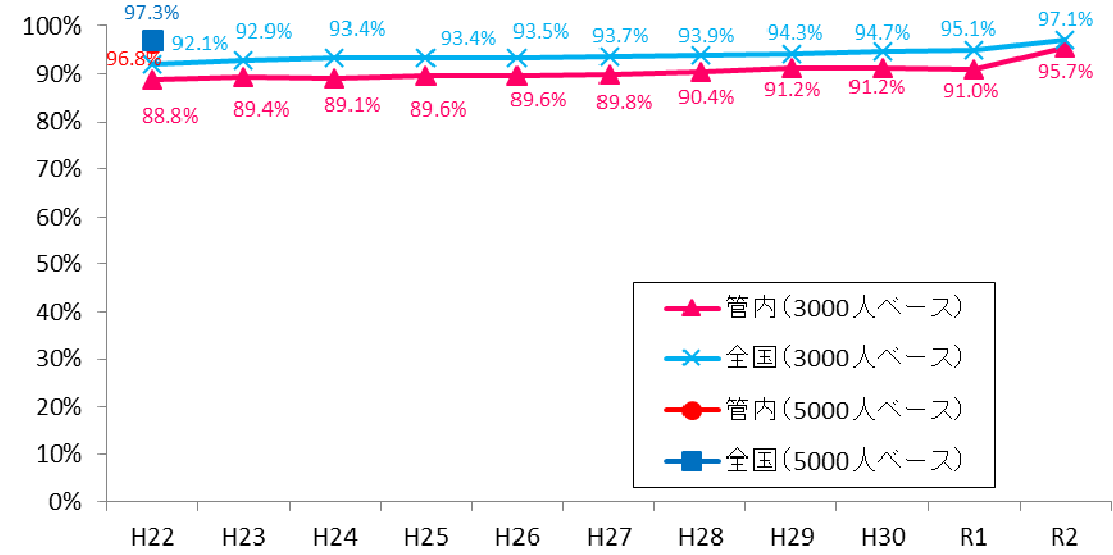
※バリアフリー化率が全国平均より高い地域を赤塗り、低い地域を青塗りとする(以下、同じ)

# 中部の鉄軌道駅のバリアフリー化の推移

### 段差の解消



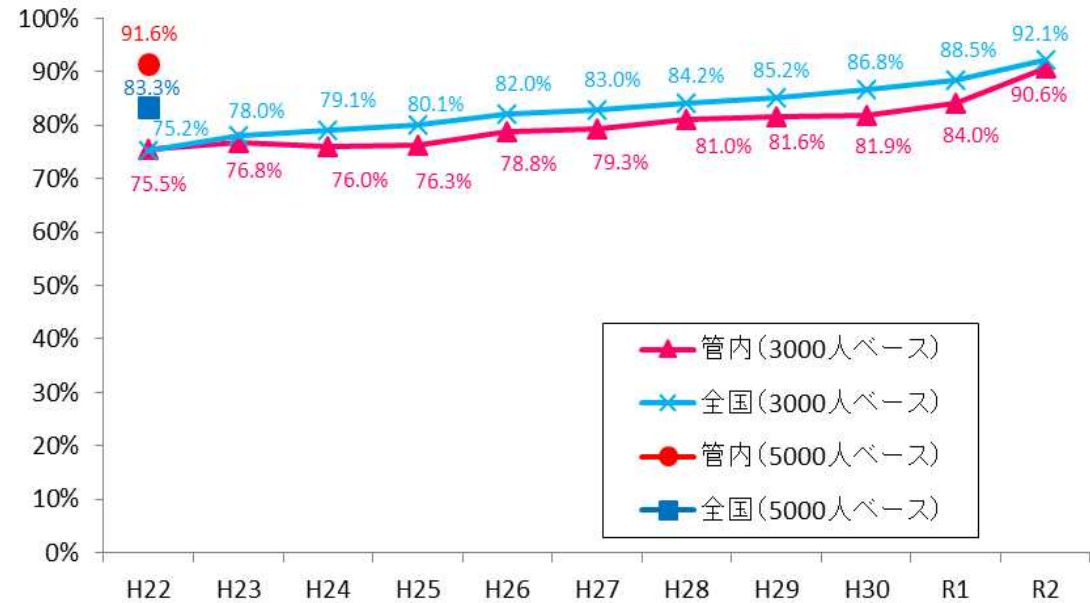
### 誘導用ブロック



※平成22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。

※「障害者用トイレ」については、トイレを設置している旅客施設における整備状況を示している。

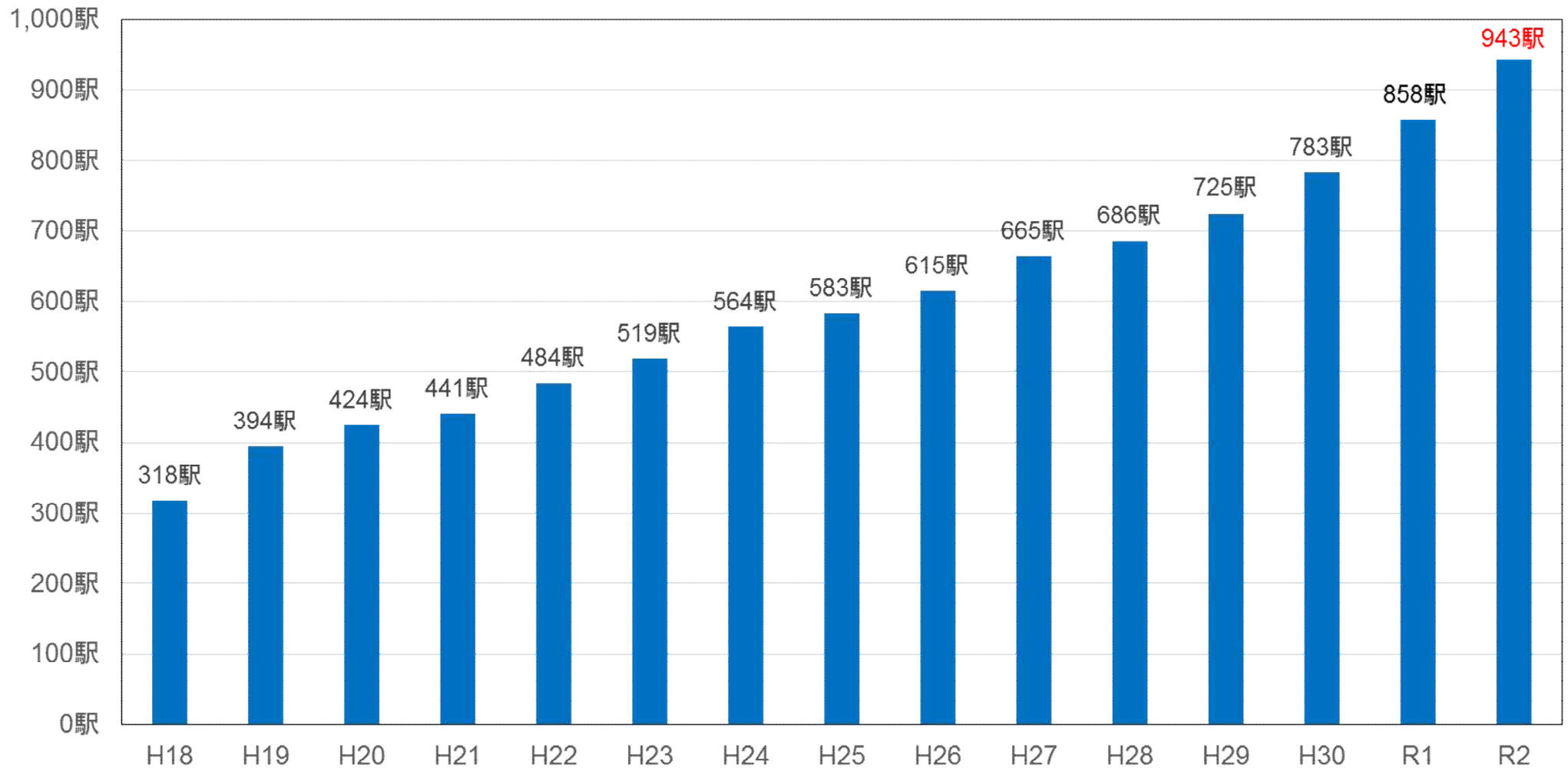
### 障害者用トイレ



# ホームドアの設置状況(全国)

ホームドアについては、車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進することとされており、着実に整備が進められた結果、令和2年度末までに943駅で設置された。

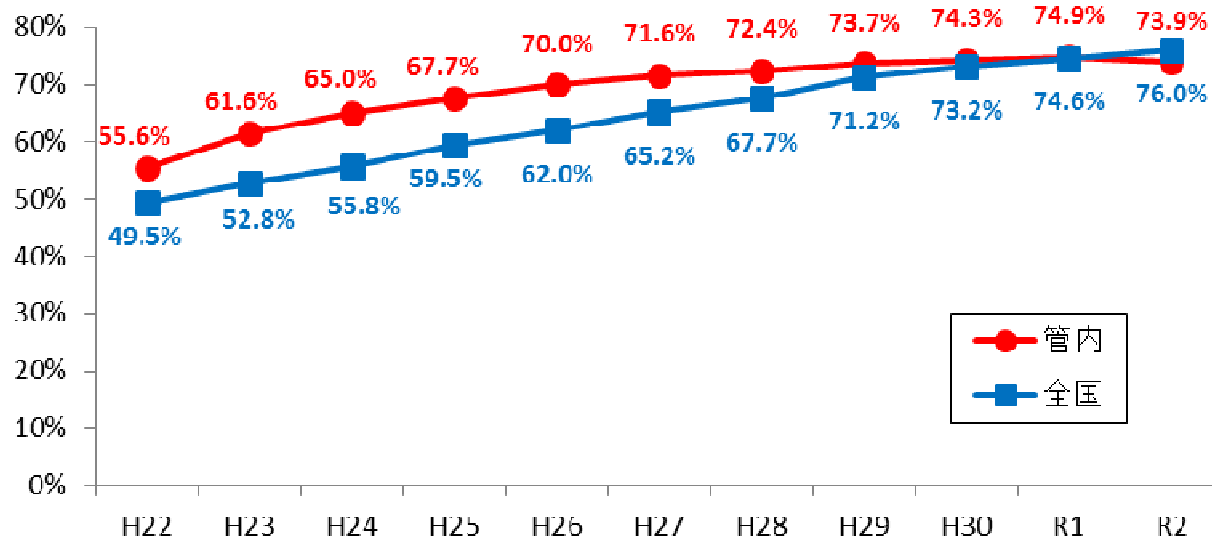
※交通政策基本計画において2020(R2)年度までに約800駅の整備を行うこととされており、目標を達成した。



# 中部の鉄軌道車両のバリアフリー状況(県別)及び推移

- ・鉄軌道車両のバリアフリー化は、7割強について実施済み。
- ・県別に見ると、愛知県の進捗率が比較的高い。

(目標値: 約70% / 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
総数	5,397	227	54	67	66	5,811	52,645
基準適合車両	4,262	4	5	22	0	4,293	40,027
総数に対する割合	79.0%	1.8%	9.3%	32.8%	0.0%	73.9%	76.0%



※各県別の考え方は、本社所在地で割り振っている。なお、本社と路線地域が異なる場合、路線地域内の支社所在地より割り振っている。

# バス



# 中部のバスターミナルのバリアフリー状況(県別)

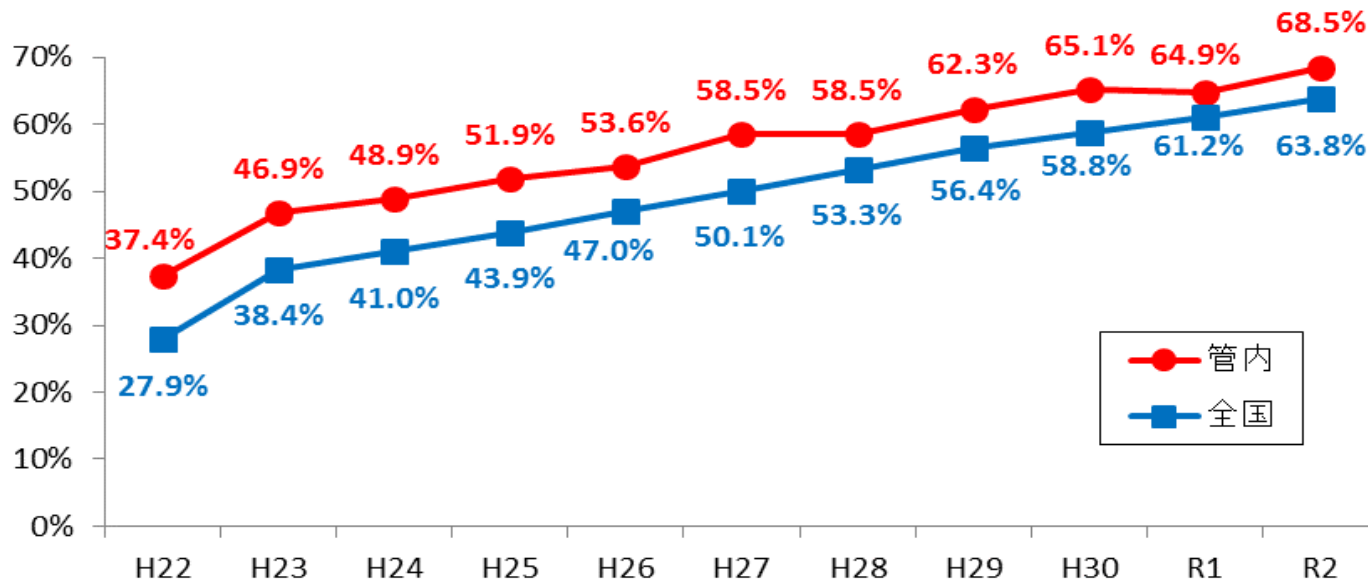
・利用者数が1日平均3千人以上であるバスターミナルのバリアフリー化は、100%実施済。

(目標値:100% ／2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
バスターミナル数	3	1	該当なし	該当なし	該当なし	4	36
(うちトイレ設置施設数)	3	1	-	-	-	4	27
段差の解消施設数	3	1	-	-	-	4	34
割合	100%	100%	-	-	-	100%	94.4%
視覚障害者誘導用 ブロック施設数	3	1	-	-	-	4	35
割合	100%	100%	-	-	-	100%	97.2%
障害者トイレの 設置施設数	3	1	-	-	-	4	22
割合	100%	100%	-	-	-	100%	81.5%

# 中部のノンステップバスのバリアフリー状況(県別)及び推移

- ・ノンステップバスのバリアフリー化は、6割強の導入状況。
- ・県別に見ると、愛知県が進捗率が比較的高い。

(目標値:約70% ／2020年度末) ※適用除外認定車両を除く	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
総数	2,002	1,273	527	601	225	4,628	46,226
基準適合車両	1,703	814	226	266	163	3,172	29,489
割合	85.1%	63.9%	42.9%	44.3%	72.4%	68.5%	63.8%



※各県別の考え方は、バス事業者の営業所単位で運輸局に報告されたものの積み上げ。

・リフト付きバス等は、適用除外認定車両のうち25%が目標のところ、5.8%の導入状況。

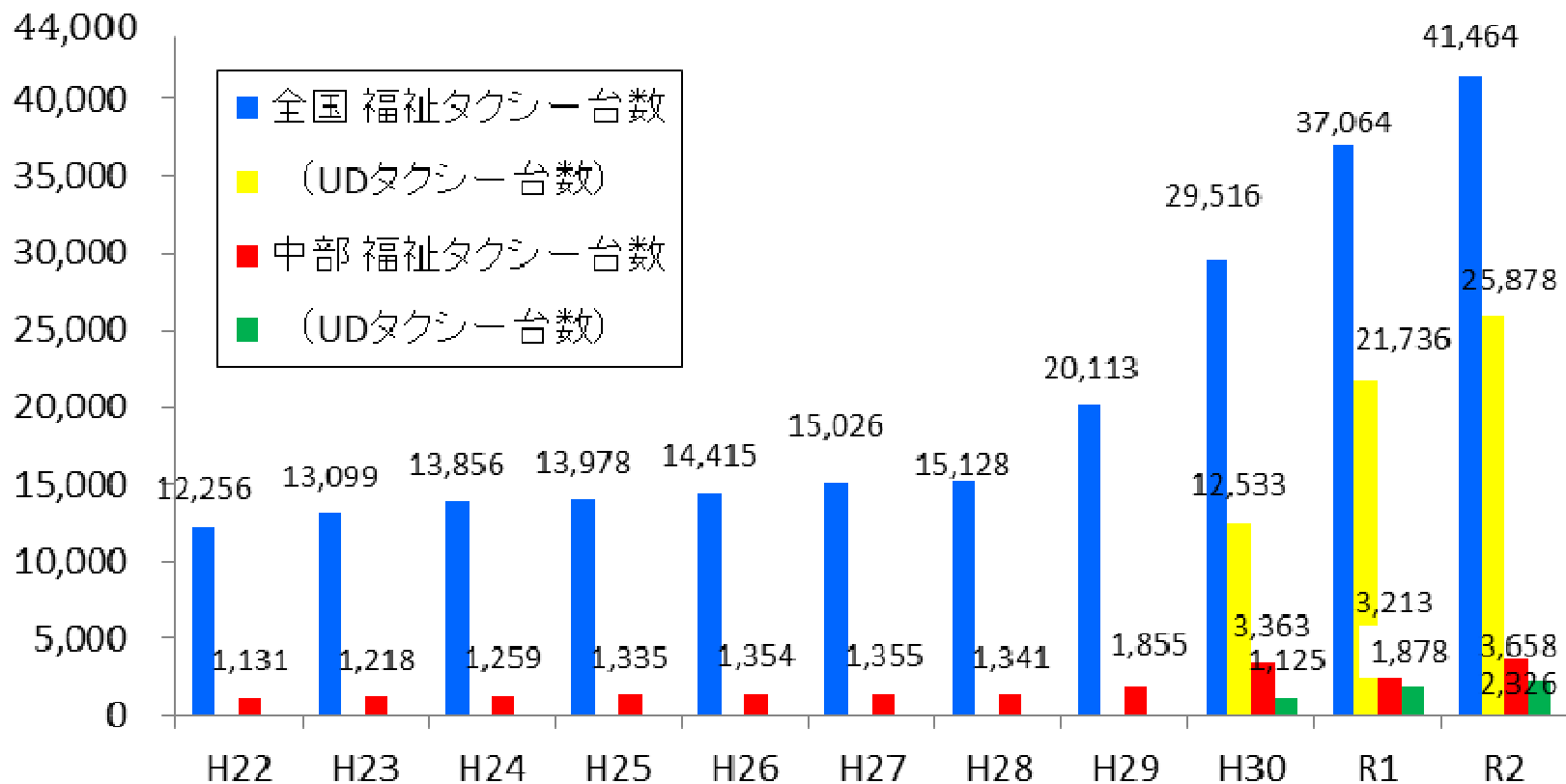
(目標値:約25% 2020年度末) ※適用除外認定車両		北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	合計
		総数	796	1,358	720	2,928	757	1,507	945	538	1,856	283
リフト付きバス等	対象車両	51	78	16	163	109	113	27	2	110	5	674
	割合	6.4%	5.7%	2.2%	5.6%	14.4%	7.5%	2.9%	0.4%	5.9%	1.8%	5.8%

# 福祉タクシー

# 中部の福祉タクシーの導入状況(県別)

・県別に見ると、愛知県の導入数が多い。

(目標値:約44,000台／ R2年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
基準適合車両	2,055	808	283	313	199	3,658	41,464
うちUDタクシー	1,491	510	173	84	68	2,326	25,878



# 旅客船

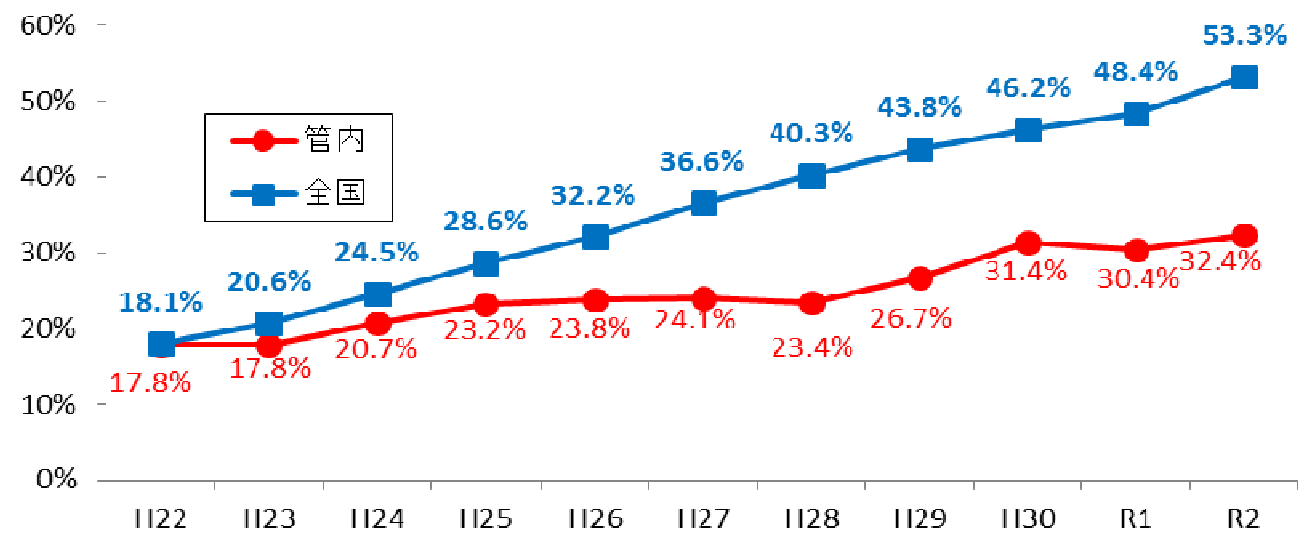
・利用者数が1日平均3千人以上である旅客船ターミナルのバリアフリー化について、中部5県内のターミナルは該当なし。全国では目標を達成。

(目標値:約100%/ 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
旅客船ターミナル数	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	8
うちトイレ設置施設数	-	-	-	-	-	-	8
段差解消施設数	-	-	-	-	-	-	8
総施設数に対する割合	-	-	-	-	-	-	100%
視覚障害者誘導用 ブロック施設数	-	-	-	-	-	-	8
総施設数に対する割合	-	-	-	-	-	-	100%
障害者トイレの設置 施設数	-	-	-	-	-	-	8
うちトイレ設置施設数に 対する割合	-	-	-	-	-	-	100%

# 中部の旅客船のバリアフリー状況(県別)及び推移

・旅客船のバリアフリー化は、3割強の実施。県別にみると愛知県の割合が比較的高い。

(目標値:約50%/ 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
総数	18	18	4	27	1	68	668
基準適合車両	12	2	1	7	0	22	356
総数に対する割合	66.7%	11.1%	25.0%	25.9%	0.0%	32.4%	53.3%



※各県別の考え方は、航路の起点により整理。なお、起点が管轄する運輸局等でない他県等の場合は、本社所在地の管轄する運輸局等で整理。



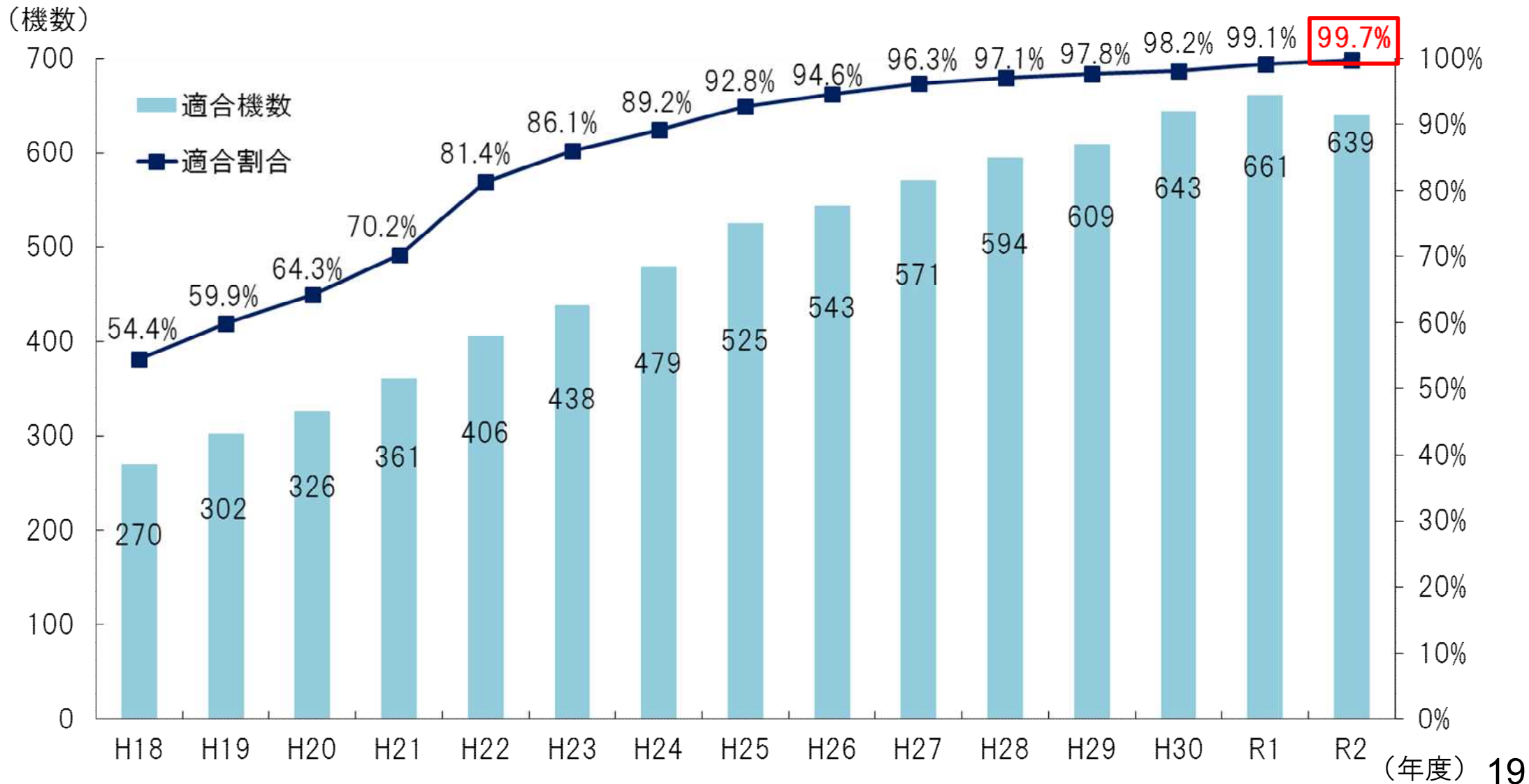
# 航空

・利用者数が1日平均3千人以上である航空旅客ターミナルのバリアフリー化は、100%実施済。

(目標値:100% ／2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
航空旅客ターミナル数	1	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	1	16
(うちトイレ設置 ターミナル数)	1	—	—	—	—	1	16
段差の解消数(施設数)	1	—	—	—	—	1	16
総施設数に対する割合	100%	—	—	—	—	100%	100%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	1	—	—	—	—	1	16
総施設数に対する割合	100%	—	—	—	—	100%	100%
障害者トイレの 設置施設数	1	—	—	—	—	1	16
うちトイレ設置ターミナル数に 対する割合	100%	—	—	—	—	100%	100%

# 航空機のバリアフリー化の推移(全国)

令和2年度までに、原則として全て移動等円滑化を実施することとされており、着実に導入が進められ、令和2年度末までに99.7%が実施済みとなった。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

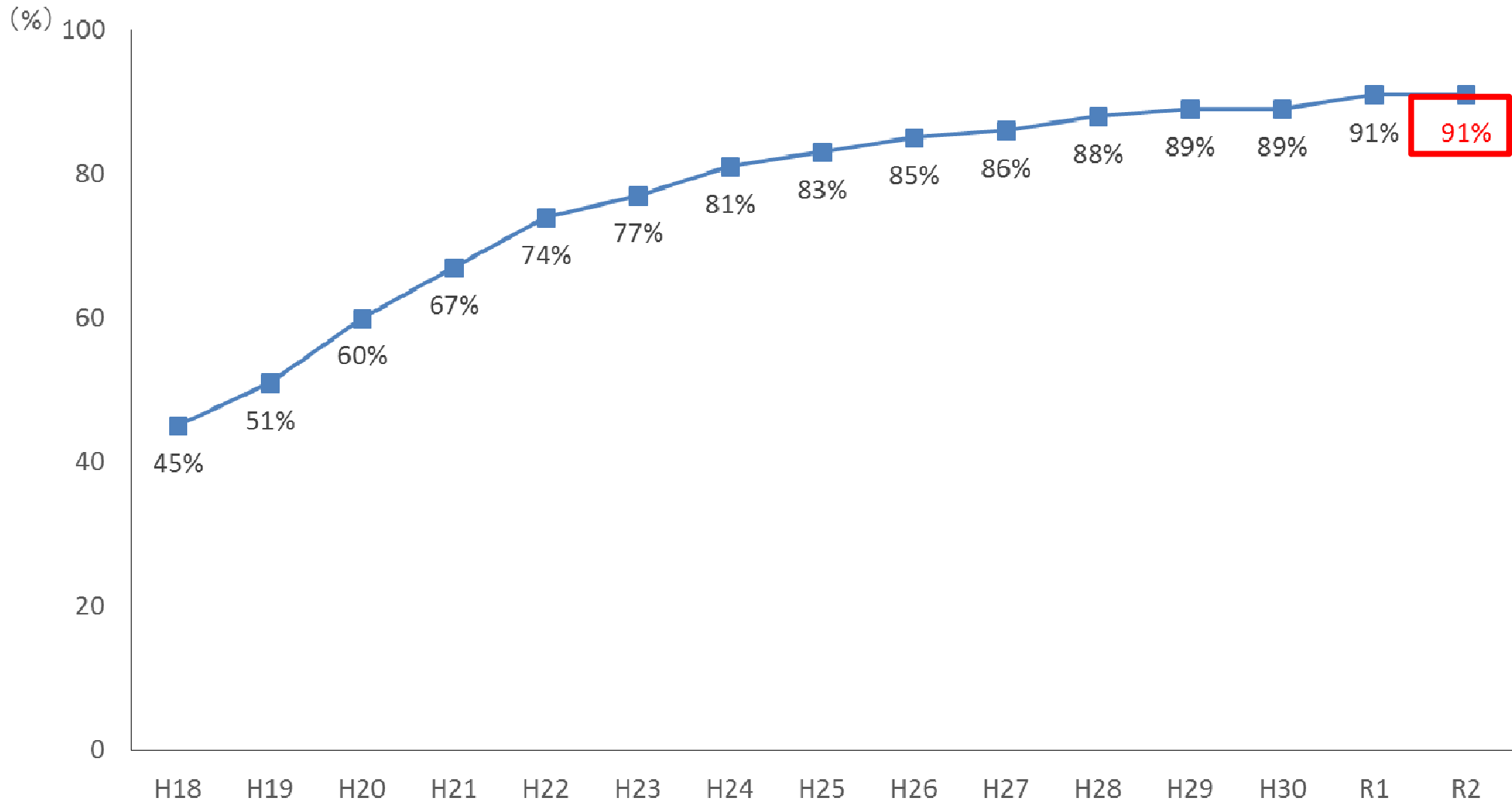
# 道路

※地域については各地方整備局等の管轄区域を基本としており、内訳は以下のとおり。

- 北海道 (北海道)
- 東北 (青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県)
- 関東 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)
- 北陸 (新潟県、富山県、石川県)
- 中部 (静岡県、愛知県、岐阜県、三重県)
- 近畿 (福井県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県)
- 中国 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
- 四国 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
- 九州 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
- 沖縄 (沖縄県)

# 道路のバリアフリー化の推移(全国)

原則として重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施することとされており、着実に整備が進められ、令和2年度末までに約9割が実施済みとなった。



# 都市公園

# 都市公園のバリアフリー状況(県別)

- ・都市公園のバリアフリー化は、園路及び広場については6割強、駐車場については5割弱、便所については4割弱の都市公園において実施済み。
- ・県別に見ると、園路及び広場については愛知県、駐車場については福井県、便所については三重県の達成率が比較的高い。

(目標値:約60%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
園路及び広場	総数	4,496	2,271	1,426	2,744	10,937	932	100,756
	基準適合の数	3,363	1,480	490	1,437	6,770	401	59,855
	割合	74.8%	65.2%	34.4%	52.4%	61.9%	43.0%	59.4%

(目標値:約60%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
駐車場	総数	434	367	226	168	1,195	75	9,371
	基準適合の数	211	178	92	85	566	45	4,696
	割合	48.6%	48.5%	40.7%	50.6%	47.4%	60.0%	50.1%

(目標値:約45%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
便所	総数	2,792	1,301	856	413	5,362	307	36,077
	基準適合の数	1,061	560	269	185	2,075	93	13,754
	割合	38.0%	43.0%	31.4%	44.8%	38.7%	30.3%	38.1%

# 路外駐車場



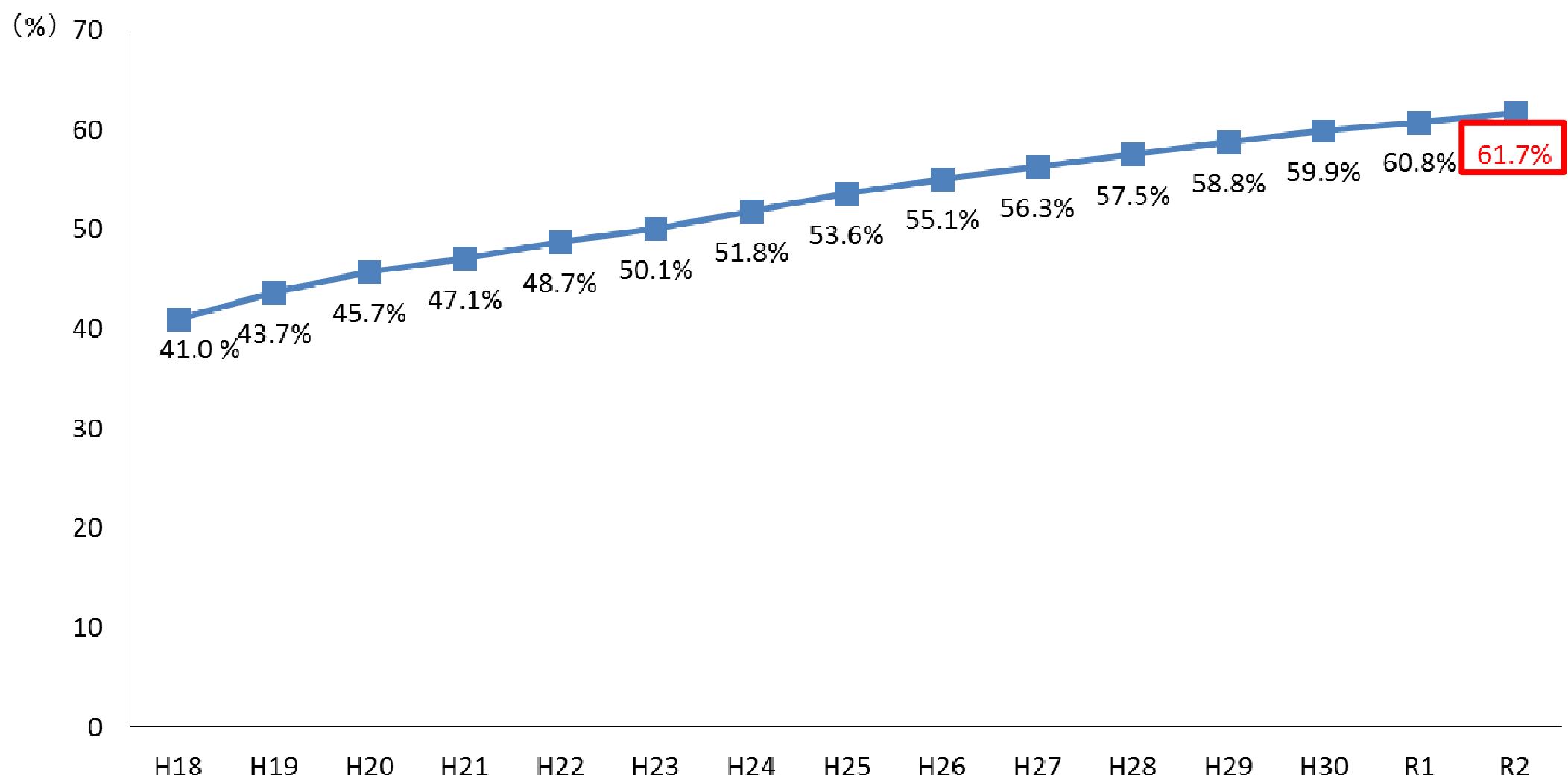
- ・特定路外駐車場のバリアフリー化は、7割強において実施済み。
- ・県別に見ると、愛知県、岐阜県の進捗率が比較的高い。

目標値:約75% ／2020年度末	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
総数[箇所]	182	88	44	45	359	22	3,151
基準適合の数[箇所]	145	53	34	30	262	12	2,229
割合	79.7%	60.2%	77.3%	66.7%	73.0%	54.5%	70.7%

# 建築物

# 建築物のバリアフリー化の推移

2,000㎡以上の特別特定建築物の総ストックの約60パーセントについて、令和2年度までに、移動等円滑化を実施することとされており、着実に導入が進められた結果、令和2年度末までに61.7%が実施され、目標を達成した。



# 信号機等

※地域については管区警察局等の管轄区域を基本としており、内訳は以下のとおり。

北海道警察(北海道)

東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

警視庁(東京都)

関東(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)

中部(富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県)

近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

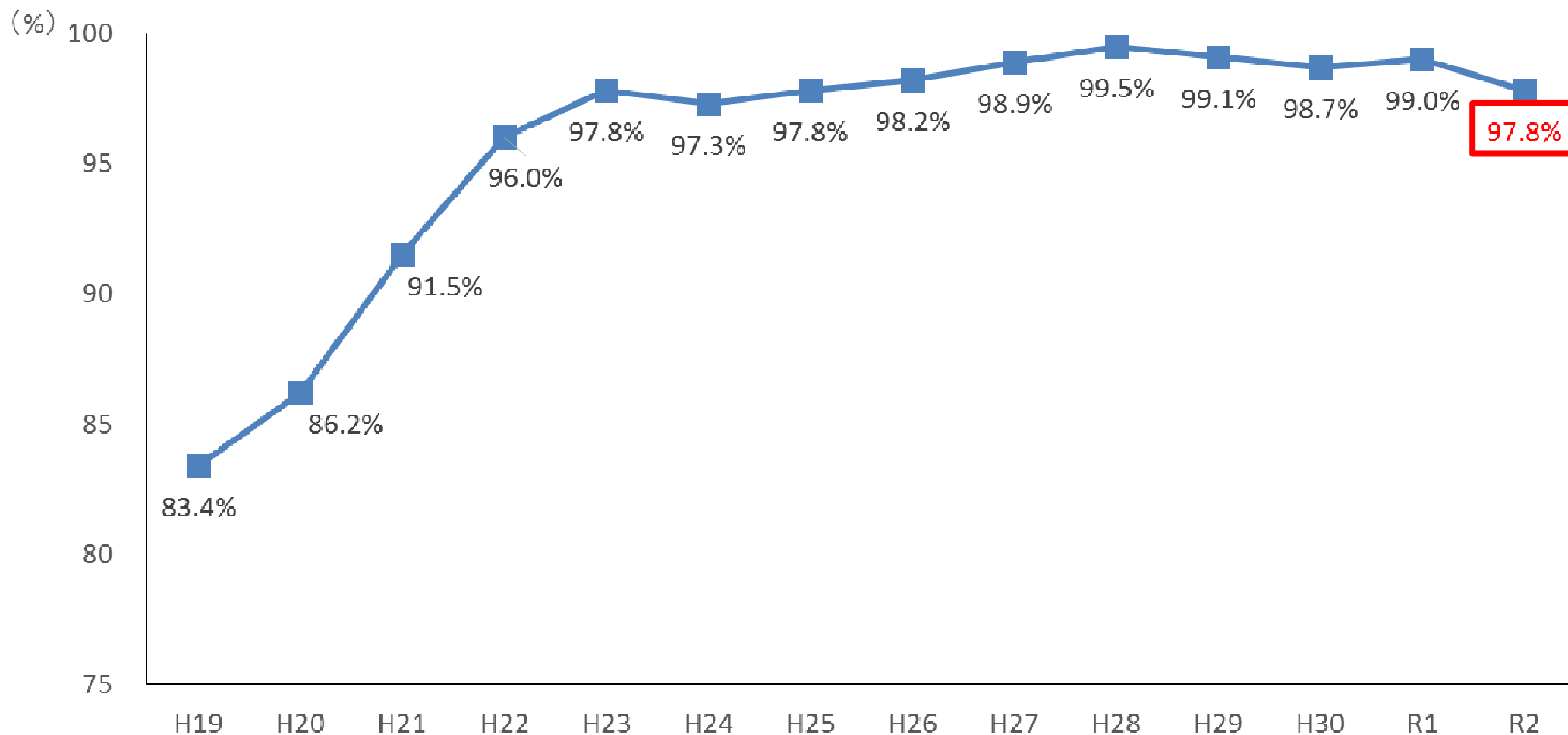
中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

# 信号機等のバリアフリー化の推移(全国) ※警察庁資料

重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等については、令和2年度までに、原則として全ての当該道路において、音響信号機、高齢者等感応信号機等の信号機の設置、歩行者用道路であることを表示する道路標識の設置、横断歩道であることを表示する道路標示の設置等の移動等円滑化を実施することとされており、着実に導入が進められ、令和2年度末までに97.8%が実施された。なお、令和2年度において達成率が低下しているのは、移動等円滑化促進方針・基本構想の策定が進められたことにより、対象となる横断箇所が増えたためである。



重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等のバリアフリー化は、全体的には着実に進んでいる。

(警察庁資料による)

北海道	東北	東京都	関東	中部
100.0%	100%	97.1%	99.4%	99.8%

近畿	中国	四国	九州	全国平均
93.8%	100%	100.0%	100.0%	97.8%

※管区警察局別

(令和2年度末時点)